

## 田山宏之議員が代表質問を行いました。

代表質問は、各年度の当初予算が提案される2月定例会において、市長の市政運営方針や市政全般に対し会派を代表して行う質問です。



代表質問の様子はこちら

### 1 広沢市長が令和8年度当初予算案に込めた想いと本市が目指す将来像

**質問** 一般会計総額1兆6961億円は過去最高を更新、「アジア・アジアパラ全力予算」として名古屋を国際都市へと押し上げる歴史的転換点を迎えている。また「市立大学附属中高一貫校」の設置準備など、独自の教育改革の第一歩を踏み出した。しかし市民が心待ちにしていた「市民税減税10%」が見送られた。市長が苦渋の決断を越えてなお見据える本市の目指すべき将来像とは。

**答弁** 東京圏への転出超過が長年続く若年層に「名古屋を選んでいただく」ためには、都市として持続的に産業競争力を高め、安定した財政基盤を確立していく必要がある。アジア・アジアパラ競技大会や令和9年5月開催のアジア開発銀行総会を成功に導き、世界の交流拠点として、都市ブランドの向上と国際競争力の強化につなげる。子どもから高齢者まで切れ目のない支援を充実させ、市民の皆さまの満足度を高めることはもちろん、国内外から選ばれる持続可能な都市を目指す。(広沢市長)

### 2 本市における女性の活躍推進

**質問** 国際女性デーに関連し、令和7年度に本市が実施する具体的な内容と期待する効果は。女性特有の健康問題やキャリア形成の壁など、女性の活躍推進を阻む課題の解決に向け、「なごや女性ウィーク」を創設し、市全体を巻き込んだ持続的なムーブメントとして定着させる必要がある。令和8年度はどのように取り組むのか。

**答弁** 国際女性デーにあわせて、市ウェブサイトにて市長メッセージを発信。マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知では、国際女性デーのシンボルであるミモザの花をモチーフとしたフォトブースを設置し、啓発品を配布。市役所本庁舎ではミモザ色のライトアップを実施した。なごや女性ウィークについては全庁的に取り組んでいく。これまでの女性活躍推進企業の認定表彰制度等に加え、令和8年度からは包括連携協定締結企業を対象としたセミナーを実施するなど、実効性の高い取り組みを目指す。(スポーツ市民局長)

### 3 「無痛分娩」への費用助成

**質問** 「産後の速やかな回復と、健やかな育児への円滑な移行」を支える医療として無痛分娩は世界標準の医療行為である。我が国の、母体を過度に疲弊させることを美徳とするような価値観から脱却すべきと考える。無痛分娩の費用助成に踏み切った自治体がある中、本市においても費用助成をしていくべきと考えるがどうか。

**答弁** 無痛分娩は妊婦の身体的負担の軽減に一定の効果があるが、麻酔に伴う健康上のリスクも指摘されている。助成を実施している都市があることは承知しているが、国は「麻酔を実施する医師の確保を進めるなど、妊婦が安全・安心に出産できる環境整備に向けた支援の在り方を検討する」との方針を示している。本市としても、国の動きを注視しつつ、産婦人科医会など関係機関等の意見を聞いたうえで検討していきたい。(子ども青少年局長)

### 4 「アジア・アジアパラ競技大会」における万全な安全対策

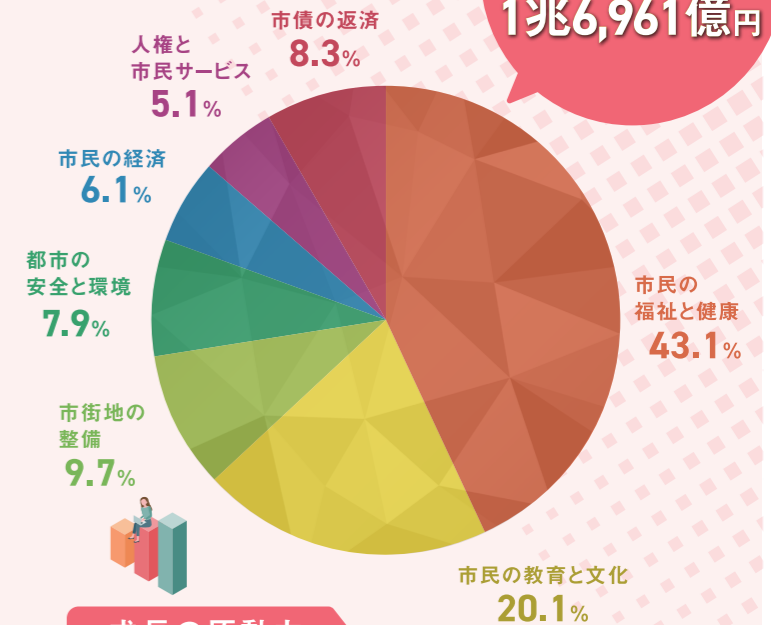
**質問** 愛知県庁内に本部を置き、愛知県と名古屋市が共同で運営する「都市オペレーションセンター」は、駅からの移動ルートにおける警備員やボランティアの指揮・管理、不測の事態への即応を担うと聞いている。センター設置の具体的な目的と役割、ならびに県と市がどのような役割分担のもとで連携し、実効性のある安全対策を講じていくのか。

**答弁** 開催都市である愛知県と本市の共同事業として、警備員や案内スタッフ・ボランティアの配置、シャトルバスの運行など、安全かつ円滑な観客輸送を行う。観客輸送に関する指揮・管理、交通情報、気象情報の集約などを行う「都市オペレーションセンター」を県市が共同で運営することで、市内のみならず全会場で発生するさまざまな観客輸送などに関する事案対応を行う予定。来場者だけでなく周辺住民の皆さまの日常生活への影響を可能な限り低減させられるよう、県市が協力連携してしっかりと取り組む。(総務局長)

# 減税日本ナゴヤ REPORT

## 令和8年度予算が 2月定例会で 可決成立しました。

令和8年度予算では、「名古屋市総合計画2028」に掲げる「5つの都市像」の実現に向けた取り組みを進めるとともに、少子化への対応をはじめとする「重点戦略」を優先し、「成長の原動力」の視点を踏まえた先行投資を進めていきます。



#### 重点戦略

- ① 結婚・子育ての希望を社会全体で応援
- ② 子ども・若者の希望と夢を社会全体で応援
- ③ やさしい福祉と支え合いのまちづくり
- ④ 命と産業を守り、安心・安全な暮らしを確保
- ⑤ 環境と経済の好循環で成長する都市

#### 成長の原動力

- ① アジア・アジアパラ競技大会のレガシー形成とリニア時代を見据えた投資
- ② 最先端のデジタル都市の実現に向けた投資
- ③ 新たなエネルギーによる産業活性化に向けた投資
- ④ 未来を支える人材を育む「人」への投資

### PICKUP 令和8年度 減税日本ナゴヤから市政への要望 (抜粋)

<b>子ども</b> 子どもの体験活動拠点設置の調査・検証	<b>総務</b> 患者通院支援アプリの周知と利用促進
<b>教育</b> 小学校統合に伴う安全な通学環境の確保	<b>スポーツ市民</b> 東区役所庁舎の安全確保と整備検討
<b>福祉</b> 防煙教育の推進による受動喫煙防止	<b>防災</b> 震災の教訓継承と防災体制の強化
<b>住宅</b> 堀川水上交通の活性化	<b>緑土</b> 通学路の安全対策強化
<b>消防</b> 地域に応じた防災啓発の推進	<b>交通</b> 子ども向け特設サイトによる利用促進

ご意見をお聞かせください。

市政へのご要望、お困りごとなど  
なんでも結構です。

(FAX) 052-972-4570



会派の最新情報はこちら

(減税ナゴヤ公式サイト)

<https://genzei758.com/>



永井 ゆり (緑区)

福祉



## 地域療育センターの配置計画

**質問** 「名古屋市今後の早期子ども発達支援体制に関する方針2029」では、新たな地域療育センターのエリアや配置について検討を進めるとされているが、現在の検討状況と今後の配置方針は。

**答弁** 現在5か所の地域療育センターを8か所に増設することを目標としている。まずは老朽化が進み支援ニーズの高い東部エリアの「発達センターちよだ」を、診療部門を併設して地域療育センター化することを優先的に進めている。同様に老朽化している「発達センターあつた」も地域療育センター化し、西部・南部エリアに配置する方針である。新たなセンターの配置場所については、地域ごとの支援ニーズの分析を進めるとともに、整備候補地を探しながら引き続き検討を進めていく。(子ども青少年局長)



## 地域療育センター中心の支援推進

**質問** 障害児支援の現場からは「園の職員だけでは対応に限界がある」「支援者間の情報共有や連携体制に課題がある」といった声があがっている。国の「障害児支援体制整備の手引き」(令和6年7月)において、「地域の関係機関が連携して『切れ目なく』『漏れなく』必要な支援が行われる地域づくりを進めること」が求められているが、地域療育センターの役割と今度の取組方針は。

**答弁** 地域療育センター職員が現場を訪問し具体的な助言を行うことで、子どもの生活を支えるとともに訪問先職員が学ぶ機会となり、訪問先全体の支援力向上にもつながる。これまで民間センターにてアウトリーチ支援体制を強化してきたが、令和8年度には2つの公立センターにおいて同時に体制を整備し、職員を2名ずつ増員予定。(子ども青少年局長)



大村 光子 (昭和区)

子ども・観光



## 「共育て」推進への取り組み

**質問** 育休の「取得率向上」から「質の向上」への転換＝「共育て」を推進し、互いの仕事と子育ての両立を図ることが重要。①本市職員を対象とした「夫婦向け研修会」の開催、②子育て職員向け官民交流の機会の提供、③「名古屋版父子手帳」の導入を提案したい。

**答弁** ①パートナー間での協力体制の構築に役立つ研修プログラムを検討し実施する。②提案内容も踏まえ、共育ての推進に向けた取り組みについて検討し充実を図る。(総務局長)



③父親向け情報をまとめた冊子「なごやだいでい」の内容を充実させるとともに、なごや子育てアプリ「なごみー」を父親にも積極的に活用してもらえよう周知方法を工夫し、楽しく協力して子育てできるよう努める。(子ども青少年局長)

## 民間型「ドネーション(寄附)ガチャ」

**質問** 令和6年度決算では個人市民税の流出額が全国ワースト2位(約177億円)、ふるさと納税による寄附を集めても100億円以上の収支不足が生じている。そこで私は、自らの意思で街を支える楽しみながら社会貢献ができる「ドネーション(寄附)」と、老若男女に愛される「ガチャガチャ」を融合させた「ドネーションガチャ」の導入を提案したい。

**答弁** 公の施設に設置する場合、整理しなければならない課題があるが、課題が整理されれば、若年層やインバウンド層の寄附文化の醸成や税外収入確保のための手法の一つになりうるものと認識。(財政局長)



名古屋城天守閣整備事業にご賛同いただける法人等から寄附や自社製品の提供などの支援をいただく「金シャチパートナー制度」の活用可能性について、天守閣整備事業に対する寄附の醸成の観点から、活用の可能性について検討していく。(観光文化交流局長)



佐藤 ゆうこ (東区)

地域



## 東区役所の整備(その7)



愛知大学OB議員の「名古屋キャンパスの校地取得に関連した車道校舎の活用」の提案から2年。東区では、住民監査請求や要望書、質問書、署名などの提出、住民説明会での数時間にわたる紛糾など、区民の間で混乱が広がった。しかし市は各学区に説明に向かう努力を怠り、ミスリードしかねない書面やアンケートを一方向的に送り付けるなど、更なる区民の分断を招いてきた。東区役所整備に関する佐藤議員の本会議質問は今回で7回目となる。現庁舎敷地での建て替えか、愛知大学車道校舎の活用か。佐藤議員は様々な角度から、区民置き去りの市の姿勢を厳しく問うてきた。今回は、広沢市長の答弁を抜粋してお届けする。これまでの経緯、具体的な質問については、市会ウェブサイトの録画中継を参照されたい。

**質問①** 市長は定例会見において「最小のコストで最大の効果」としながらも「地元の皆さまに良かったと思っていただくことが大事である」と強調されている。市長は市の方針である校舎活用が地元の皆さまに理解され、よかったと思ってもらえると考えているのか。令和8年度に予算を付けていない理由と東区役所の整備方針をお答えいただきたい。

**市長答弁①** これまで車道校舎活用について、区民の利益につながる整備が可能となると考え、予算計上し検討を進めてきた。しかし、区民の意見が分かれている現状において、車道校舎を活用するかどうかを含め、慎重に検討して方針を決定したい。令和7年度中に結論を出すとしてきたが、今しばらく時間をいただきたい。

**質問②** 昨年12月の総務環境委員会において、スポーツ市民局長は「東区役所整備が車道校舎にならなかった場合、またはなかなか結論が出なかった場合は、竣工順ではなく、区役所整備に係る指標により優先順位を決めていく可能性がある」と答弁された。現時点での状況から、竣工順ではなく優先順になると考えるが、市長の見解は。また、最終方針をいつまでに公表するのか。

**市長答弁②** 区役所の整備順についてはスポーツ市民局長の答弁の通りである。東区役所が車道校舎にならなかったり、結論が出なかった場合は、6区役所2支所の中に東区役所を入れて整備順を再検討する可能性もある。慎重に検討するため、今しばらく時間がほしい。

**質問③** 仮に車道校舎を活用するとしても、およそ10年後のこと。すでに老朽化している現庁舎は簡単な補修作業ではなく、しっかりとした改修が必要である。また、今年2月にオープンしたイオンモールナゴヤドーム前でのマイナンバーカードサービスコーナーが順調な滑り出しと聞いており、軌道に乗れば区役所窓口の設置も可能と考える。現庁舎の必要な改修と商業施設での区役所窓口設置についての見解は。区民に対する思いは。

**市長答弁③** 現庁舎の補修や改修については緊急性があり、適切に対応していく。商業施設での利用拡大についても利用者の声を聞きながら、適切に対応していきたい。東区役所については「今年度末までには方針を決定する」と申し上げてきたが方針決定に至らず、区民の皆さんには申し訳なく思っている。今しばらく時間をいただきたい。

**質問④** 他の議員の質問に対し、愛知大学車道校舎について区役所整備とは関係のない「別の用途での活用を検討する」といった旨の市長答弁があった。東区役所整備の方針を回答できずにいる中で、別用途での校舎活用を検討することは、「東区民を思って」なのか「愛知大学を思って」の校舎購入なのか全く分からない。東区民はどこにいるのか。

**市長答弁④** 可能性について言及したまでである。

